



2040年

地球の危機

今、地球が危なくなっています。
急激な環境の悪化によって、多くの生態系が危機に瀕しています。
このままいけば、西暦2040年頃の未来には私たち人類の存続さえ危うくなります。

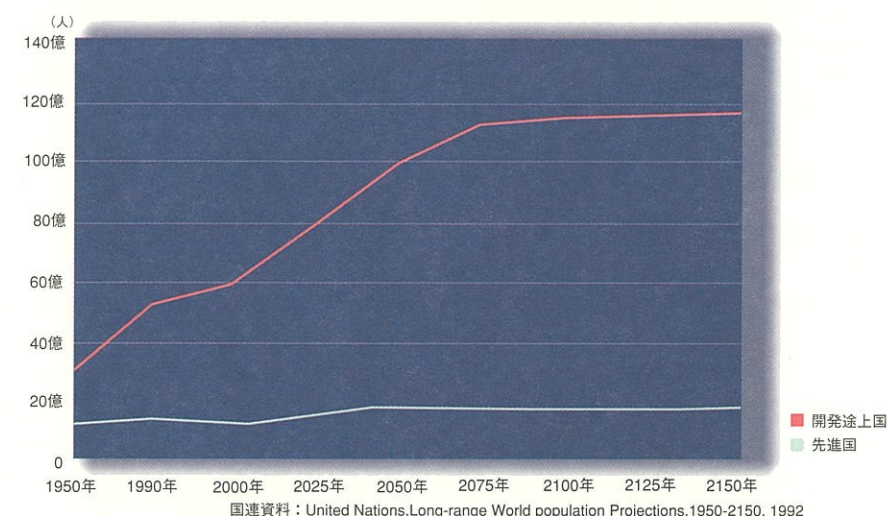


人口爆発問題

現在、私たち人間の人口は約60億人で、国連の調査によると過去10年間に3割も増加しています。このままの増加傾向でいくと、2040年頃には現在のおよそ1.5倍にあたる約92億人に達すると予想されています。

このかつてない人口の急激な増加は、食料やエネルギー資源をはじめ、地球上のありとあらゆる資源の消費につながります。これは、温暖化をはじめとする地球環境の悪化を引き起こし、地球上に生きるすべての生命体の脅威となるでしょう。

世界人口の推移 1950-2150年



資源の枯渇とエネルギー問題

地球の地下資源は有限です。

世界エネルギー会議等の資料によると原油は2040年時点で確認可採埋蔵量（確認され、採集が可能な埋蔵量）の枯渇が予想されています。また、原子力に利用されているウランについても2060年頃には枯渇する可能性を示しているのです。

人口の爆発的な増加、それに伴う消費の急激な拡大を考慮すると、地球規模での資源の枯渇は間違いなくもっと近い将来となることでしょう。

また、我が国のエネルギー研究機関の報告によると、2100年までの世界の長期エネルギー需要の予想では、2040年頃の各国1人当たりのエネルギー供給量は1990年の4倍に相当する年間約250億トン（石油換算）に達し、二酸化炭素排出量も約4倍の180億トンに達するとしています。このようなエネルギー消費により、2030年頃からは慢性的なエネルギー不足の社会となり、現在のようなエネルギー大量消費社会の存続は望めないでしょう。